



2017年 JAF 東日本ラリー選手権第3戦 / JMRC 関東ラリーシリーズ 群馬ラリーシリーズ第1戦
MSCCラリー in MIKABO

公式通知 No. 2

発行日時 ; 2017年 4月15日 6:00	文書番号 ; 1. 0 2
宛 先 ; 全参加者	ページ数 ; 3
発行者 ; 大会事務局	添付資料 ; なし
発行内容 : ドライバーズブリーフィング資料	

【注意事項】

- 1) ロードブックの『Information』欄に記載されている事項について注意する事。
- 2) 暴走行為は慎んでください。特に P10-Box11~P11-Box15、P17-Box15~Box16 P23-Box13~Box17、P36-Box9~Box10、P41-Box13~Box17 は監視をしています。暴走行為の確認ができた場合は、審査委員会によりペナルティーを与える場合があります。
- 3) P29-Box18 Refuel (金沢石油店) ですが、道路も狭く対向車も行きかう中での順番待ちになります。一般の方に迷惑の掛からないよう車両の列の長さ等配慮願います。
- 4) TC3A 付近ですが待車スペースがあまりない為、GS にて時間調整して、自車予定時刻の3分前を目安に向かうようにしてください。ご協力をお願いいたします。
- 5) サービスパーク内通路はかなり狭いので、各車譲り合って事故の無いようお願いいたします。
- 6) TC1 ,3, 5 イエロー看板の手前でギャラリーが横断します。ギャラリーは止めるようにいたしますが、十分注意して下さい。
また、ギャラステージに向かうギャラリーと並走する区間は、十分注意して下さい。
- 7) ヘルメットは各 SS スタートラインにつく前に着用を完了している事。
- 8) シートベルトについてもリエゾンを含め、各 SS スタートラインにつく前に装着を完了しておく事。
- 9) すべての TC、SS スタート、SS ストップにて必ず TC カードに計時時刻をオフィシャルより記入してもらう事。
- 10) SS 内、リエゾンも含め、後続車の走行を妨げた場合は、当該 TC で必ずその旨申告をする事。
また、自車の走行を妨げられた場合も当該 TC でその旨申告をする事。
- 11) TC5A は早着 OK です。遅着についてはペナルティーの対象となります。
- 12) ロードブック綴込み内容について、表紙裏面記載の「目次」を見て、落丁等ないか確認をする事。
- 13) 連絡先
競技長 後藤茂行 090-3139-0923 事務局長 西井 敏則 090-7202-0057
CRO 依田靖弘 090-1883-9311
SS1/3/5 SS Mikabo ステージコマンダー 高野啓嗣 090-3085-2071
SS2/4 SS Sakamaru ステージコマンダー 丸山隆康 090-1114-6994

【スペシャルステージ上での停止、スペシャルステージの中断における選手の対応について】

- **スペシャルステージ(SS)でトラブルなどやむを得ず停止、またはコースアウトした場合**
 - ・車両が停止したら、自分が止まっていることを後続に知らせるために必ず三角停止板を 50m 以上後方の停止している側に立てる。停止車両がコース外にあったとしても、三角停止板を設置すること。
 - ・車両トラブル、バースト、パンク等でコース上または枝道等であっても三角停止板を設置すること。
 - ・三角停止板はコーナーではなくストレート上で後続車の確認しやすい場所に提示する。
 - ・三角停止板を設置しなかった場合はペナルティーの対象となる。
 - ・後続車両が三角停止板をはじめてしまったとしても後続車両側の問題であり、だから三角停止板を出さなくていいというわけではない。三角停止板をはじいた車両が発覚した場合はペナルティーの対象となる。



また、三角停止板が設置提示された状態にて止まっている競技車両に追突等した場合はペナルティーの対象となる。

●SOS/OK サイン

- ・SOS/OK サインはクルーの救急医療処置が必要かどうか又は車輛の消火作業が必要かどうかを伝えるものであり、後続車両を停止させるためのサインでない。
- ・SOS サインの提示されたクルー、もしくは SOS サインは提示していないが重大な事故でクルーが車内にとどまっていることが明らかである車両を発見したクルーは例外なく援助するために直ちに停止しなければならない。その他の後続の車両も停止し事故現場に 2 番目に到着した車両は事故のことを知らせるために次のラジオポイントまで行くこと。又後続の車両は緊急車両が通るために道を開けなければならない。

●スペシャルステージ(SS)でコースをふさいだ場合、ふさがれた場合

- ・競技車両がコースをふさいだ場合でも、当該選手が後続車を停止させることラリー競技を中断させることはできない。通過できるかできないかはあくまで後続の選手が判断すべきことである。どう考えても危険な状況の場合は、三角停止板を提示したうえでスピードを落とすよう全力でアピールするなどして対応する。
- ・通れないと判断した後続クルーは、後続車に対し三角停止板を設置し、競技を続行するためにコースをふさいだ停止車両の排除に努力しなければならない。競技進行のために停止車両を排除することは許される。ラリーを続行するために後続車に十分注意し排除作業を積極的に行うこと。
- ・停止車両の排除に努力し停止せざるをえなかった選手に対しては必ず救済処置が施される。救済タイムとしてコースをふさいだ車両の前に記録されたタイムの中で適正と思われるタイムが与えられる。
与えられた救済タイムに妥当性がない場合クルーは根拠を示し競技長に伝える。ただし、救済タイムの決定はあくまで競技会審査委員会による。

●イエローフラッグ

- ・SS コース上にて、アクシデントや行方不明車両などが発生した場合、FIV が出動する段階ですぐにイエローフラッグが提示される。
- ・SOS のサインが提示された場所または不明車両が通過しなかった場所より手前の各ラジオポイント(トラッキング)においてイエローフラッグが振動提示される。SS スタートではフラッグではなく口頭で指示される。
- ・イエローフラッグが提示されていることを確認した時点でドライバーは直ちに、停止が必要な場合にも対応できるよう速度を落とし、そのスピードをスペシャルステージの終りまで維持しなければならない。また、マーシャルの指示に従わなければならない。
- ・イエローフラッグの規則に従わなかった場合はペナルティーの対象となる。
- ・イエローフラッグの提示を受けた選手は必ず救済を受けられる。
- ・イエローフラッグが出された状態で走る際も SS 中なのでヘルメットを脱いでではない。ヘルメットを脱いでいた場合、シートベルトを外していた場合はペナルティーの対象となる。

【救急】

1. リエゾン区間において、救急要請を行う必要があった場合は、各エントラントから 110 番、119 番に直接通報のこと。 対処後 HQ 競技長、または事務局へ文書で報告書を提出されたい。
報告事項 = 救急依頼事項 (カーナンバー・対象者・依頼内容)、救急隊所属消防署、搬送病院、病院対処後の処置 (入院・治療のみ等)
2. SS 区間内での救急発動は、FIV ドクターの判断により主催者が要請する。



3. S S内コースアウト等による医療対応及びコースクリアーを迅速に行うため、直近の競技車両がコース内に停車していた場合は、可能な限りストップ地点のマーシャルに事故の状況報告をすること。
☆OK マークの有無、カーナンバー、停車地点、コース状況等可能な範囲でお願いします。もちろんSOSが出ていた場合は、必ず停車し救助を行ってください。
4. 病院等で救急外来を受診する際に適切な対応を受けられるよう、健康保険証を携行、あるいはサービス等からすぐに届けられる様に用意しておく事。また、受診の際は事前に病院へ電話連絡をした上で受診する事を強く推奨します。

【事務局】

1. 夕食について

15日(土)の夕食(お弁当)はフィニッシュ後、おにし青少年野外活動センター食堂にて夕食券と引換でお渡しします。

おにし青少年野外活動センターについて

1. 入浴時間・食事時間について

入浴時間：15日(土) 18:00~26:00

朝食時間：16日(日) 7:00頃~

MSCCラリー in MIKABO
大会事務局

競技会審査委員会(署名)

小口貴久; 小口貴久

高桑春雄; 高桑春雄

2017年 4月15日 6時00分

MSCCラリー in MIKABO
競技長

後藤茂行; 後藤茂行

2017年 4月15日 5時50分